



NEWSLETTER

Vol.05
2021.03

2020年度 母性看護学領域

中村幸代（教授） 飯田真理子（准教授） 竹内翔子（講師） 篠原枝里子（助教）

母性看護学卒業研究会の開催

2020年12月8日(火)に母性ゼミ生8名の卒業研究発表会が行われました。今年度はCOVID-19の影響により、助産所やフィリピンでのデータ収集はできませんでしたが、それぞれの研究テーマに合わせて出産経験のある母親や父親、助産師の方々に協力していただき、インタビューを実施することができました。卒論発表会もZoomでの開催となりましたが、活発なディスカッションの場となりました。



<今年度の研究テーマ>

- ・助産師の妊婦に対するセルフケア行動を促すための日常生活指導の実態と効果的な指導の考察～褥婦へのインタビューを通して～
- ・妊娠中の集団指導における仲間づくりのための助産師の関わり
- ・助産所の助産師が分娩期にある産婦へ実施する非薬物的産痛緩和ケアの実態と助産師の判断
- ・分娩期における産婦の出産体験自己評価を高める助産師のかかわり
- ・女性のニーズに基づいた満足度の高い出産につながる助産所のケア～助産所出産をした女性へのインタビューを通して～
- ・父親の子とのボンディング形成過程と助産師の支援へのニーズ
- ・夫の育児・家事への参加につながる夫婦間の関わり～夫の視点から～
- ・助産所における助産師の在日外国人妊産婦に対する関わり

卒業研究を終えて

研究を通して、夫婦で協力して育児するためには、感謝の言葉や協力する関係性が重要であると考えました。また、卒業研究も周囲の協力があり良いものになります。したがって、育児も研究も、全てのことにおいて、感謝と協力が重要であると感じました。今後も周囲と協力し、感謝の気持ちを持ち続け、看護を学んでいきたいです。

2020年度母性ゼミ生 吉野朱莉さん

大学院生の研究活動

母性看護学分野(博士前期課程)・健康支援看護学分野(博士後期課程)では、大学院生の興味があるテーマで研究が行えるよう支援しています。

2020年12月15日(火)に博士前期課程の論文審査が行われ、母性看護学分野では大学院生1名が自身の研究課題を修士論文としてまとめ、審査を受けました。

大学院での研究活動を通して

研究課題:

「助産師による産後1か月健診時の褥婦のメンタルヘルススクリーニングの実践と関連要因の検討」

研究活動は忙しく、進行にあたりハラハラしたり、不安になったりすることもありましたが、その分充実し、首尾一貫して研究をやり抜く力が培われた2年間でした。審査会も無事終了し、今は一つの基礎研究をやり終えたことへの達成感を感じています。今後は研究活動を通して得られた結果や示唆を、一人でも多くの臨床で働く助産師の皆様の実践に役立てられるよう、論文発表やリーフレット作成等を通して、還元していくことが目標です。

母性看護学分野 小倉果緒里さん

卒業ゼミ生の近況報告

助産師として日々いろいろな命と向き合い悩みながらも、赤ちゃんたちに癒されて楽しく働いています！昨年には結婚して、休日は結婚式の準備も頑張っています！

2016年度卒 飯尾仁美(旧姓:沖)さん

助産師学科での一年間は、大変なこともありましたが、一つひとつの課題に真摯に向き合い、充実した日々を送ることができました。対象者の強みを生かした支援ができる助産師になりたいです。

2019年度卒 陸川明梨さん

お知らせ①

第35回神奈川県母性衛生学会学術集会

第35回神奈川県母性衛生学会の大会長を中村幸代教授が務めることになりました。2022年2月5日(土)に開催予定です。ぜひご参加ください(演題発表も大歓迎！)。

学術集会の情報は、学会HPで随時お知らせしていきます。↑学会HP



お知らせ②

2021年度に助産学分野が開講！

2021年度、いよいよ大学院博士前期課程に助産学分野が開講します。ローリスクからハイリスクまで様々な妊産褥婦に対応できる助産師を育成できるよう、教員も準備を進めています。助産への進学にご興味のある方はお気軽にご連絡ください。(すでに助産師で研究に興味のある方、博士後期課程への進学をお考えの方からのご連絡も大歓迎です！)

お知らせ③

研究会HPをリニューアル！

本研究会のホームページをリニューアルしました。

学部ゼミ生や大学院生、教員の研究活動について、タイムリーに情報を更新していきたいと思います。

母性看護学領域でのFacebookも領域での活動を引き続き発信していきます。

皆さん、定期的にチェックしてみてください！



【お願い】登録メールアドレスの変更は、下記までご連絡ください。

竹内 : shoko@yokohama-cu.ac.jp

↑ Facebook

↑ 研究会HP